

令和4年度実施  
地方創生関係交付金にかかる  
事業実績評価表



# 地方創生関係交付金の概要

第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地方創生のより一層の推進に向けた取組を支援することを目的として設置された交付金

## 地方創生推進交付金

観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組（主にソフト事業）を支援

## 地方創生拠点整備交付金

観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する拠点施設の整備（主にハード事業）を支援

## デジタル田園都市国家構想推進交付金

デジタル技術を活用した地域の課題や魅力向上の実現に向けた取組を支援

令和5年度からは「デジタル田園都市国家構想交付金」が創設され、各交付金が1つにとりまとめられている。

# 令和4年度 地方創生関係交付金活用事業 一覧表

## 【地方創生推進交付金】

No	事業名	事業概要	総事業費	交付金充当額
1	まちの変化を力にした地域内外の交流拡大・地域の賑わい創出プロジェクト	長崎県では、「西九州新幹線の開業」「長崎スタジアムシティプロジェクト」「IRの誘致」「長崎港松が枝国際観光船埠頭の整備」など、まちが変わる大型プロジェクトが複数進行している状況である。この「まちの変化」を契機とし、交流人口の拡大・地域の賑わいを作り出すためのプロジェクトである。	39,848,908	19,924,454
2	地方回帰と産業構造の変化を捉えた大規模人材還流プロジェクト	人口減少が進行する中、小さな拠点づくりの広域連携支援や地域課題解決の担い手となる人材の確保に取り組むことによって、持続可能な地域コミュニティづくりを行う。	16,697,608	8,348,804
3	「若者に選ばれる」畜産産地の実現で地域を活性化するプロジェクト	「長崎和牛」の認知度及びブランド力向上のための流通・販売対策と、肥育農家の所得向上のための経営対策、コスト縮減対策、品質向上対策を一体的に推進するため、子牛の増頭に係る繁殖雌牛導入の負担を軽減し、スムーズな規模拡大、新規参入を支援する。	4,738,000	2,369,000
4	しまの産品生産・販売力拡大支援事業	商品力(高付加価値、品質管理等)や商品量の不足等が販路拡大や継続取引への大きな障壁となっていることから事業者の生産拡大や商品力向上等を支援していく。また、大手運送事業者等と協働で新たな輸送体制を確立することにより、リードタイムの短縮及び安定的な出荷体制の確保と輸送費用の縮減を図っていく。さらに地域商社は、販路や取扱商品を段階的に拡大し、収益の増加を図るとともに、プライベートブランド商品の開発販売等を通じて自主財源を確保するなど持続可能な運営体制の確立と自立化を目指す。	21,241,000	10,620,500
5	海洋エネルギー関連産業の受注拡大と産業界間連携による地域活性化	海洋関連のプロジェクトを県内に誘致・創出していくことと併せて、県内企業の技術力向上と技術者の育成を図るとともに、地元企業の海洋関連プロジェクトへの参画を促進することにより、海洋関連産業の集積と海洋分野における受注拡大及び雇用創出を通じて、地域活性化を図る。	10,330,000	5,165,000
6	ドローンi-Landプロジェクト	離島部の特性を活かし、他地域に先駆けて物流をはじめとしたドローン関連技術の実用化に向けた実証を行う環境を整備し、地域課題を解決することと地域特性を活かす事業にドローン関連技術を実証・実装し、さらには関連企業を誘致することによる雇用機会の創出と移住促進を実現する。	13,446,000	6,723,000
7	ながさきとの関わり創出プロジェクト	・都市部企業において多様な働き方への変化が生じている中、新しい働き方としてのテレワーク、ワーケーション等の受入を推進する。 ・地域住民が文化芸術に触れることで、新たな分野のイメージブランドの確立と、更なる交流人口の拡大を図り地域活性化に繋げる。	2,113,993	1,056,996
計			108,415,509	54,207,754

## 【地方創生拠点整備交付金】

No	事業名	事業概要	総事業費	交付金充当額
8	鏡瀬ビジターセンター及び周辺施設の再整備事業	ジオパークを活かした取り組みを推進するために、平成7年に整備された「鏡瀬ビジターセンター」とその周辺施設を再整備し、市民や観光客が地域の自然や文化の大切さを学び、魅力を知り、大地と人の営みとを感じることができるジオパーク推進の拠点施設とする。	398,635,600	199,317,800

## 【デジタル田園都市国家構想推進交付金】

No	事業名	事業概要	総事業費	交付金充当額
9	スマート巡回診療推進プラン(モバイルクリニック)事業	通院が困難な患者に対して、手軽にオンライン診療を提供することを目的として、自宅付近にオンライン診療のための医療機器を搭載した専用車両が出向き、同乗している看護師によって、車内からテレビ電話をつなぎ、医師によるオンライン診療や薬剤師によるオンライン服薬指導を実施する。	48,174,016	23,965,000

事業名	まちの変化を力にした地域内外の交流拡大・地域の賑わい創出プロジェクト				担当	地域振興部 文化観光課 地域振興部 スポーツ振興課	
事業概要 (本市のみ)	長崎県では、「西九州新幹線の開業」「長崎スタジアムシティプロジェクト」「IRの誘致」「長崎港松が枝国際観光船埠頭の整備」など、まちが変わる大型プロジェクトが複数進行している状況である。この「まちの変化」を契機とし、交流人口の拡大・地域の賑わいを作りだすためのプロジェクトである。						
事業内容	事業名	事業概要	実績概要	交付金(円)			
					総事業費	交付金充当額	
	外国人観光客誘致事業	インバウンドによる観光客拡大、地域経済の活性化を目的に、韓国を中心としたこれまでの誘客活動に加え、滞在日数の長期化と観光消費額が高額層である欧米からの誘客を図った。	海外からの団体旅行を送客し、五島市での宿泊を伴う観光ツアーを実施。五島市での宿泊者延数138人泊。	409,000	204,500		
	観光情報発信充実強化事業	観光ポータルサイトを改修し、閲覧数を増加させ観光客誘致に繋げる。	HPのリニューアルを行い、閲覧者数の増加につながった。	6,000,000	3,000,000		
	観光しまづくり推進事業	市民自らが主体的に地域の魅力に磨きをかけながら賑わいの創出につなげるために行う、観光のまちづくりに関する事業を対象とした補助。	「舞いあがれ！五島推進協議会」など、3団体の観光まちづくり事業に対する補助を行った。	4,999,000	2,499,500		
	体験型観光推進事業	教育旅行受入による交流人口の拡大と受入体制の強化のため、誘客営業活動の展開、受入環境整備への支援等に取り組む。	コロナ禍ということで、受入数は7校と少なかったが、81件の旅行会社を訪問して誘致活動を行い、16件の受入環境整備支援を行った。	16,216,700	8,108,350		
スポーツ交流人口拡大推進事業	市外の学校や実業団等のスポーツ合宿を誘致し、スポーツによる交流人口の拡大を図る。	コロナ禍での対応を取りながら誘致・受入に取り組み、R03より40団体増の76団体1,262名のスポーツ合宿を受け入れた。	12,224,208	6,112,104			
<b>地方創生推進交付金 計</b>				<b>39,848,908</b>	<b>19,924,454</b>		
本事業における重要業績評価指標(KPI)	指 標		単 位	目標値 (R04)	実績値 (R04)	達成率	
	市指標A	外国人観光客数	人	1,920	264	14%	
	市指標B	観光入込客数	人	292,000	166,979	57%	
	市指標C	民泊許可軒数	軒数	166	143	86%	
	市指標D	教育旅行受入人数	人	4,650	298	6%	
	市指標E	スポーツ合宿の延べ団体数	団体	128	76	59%	
事業効果	地方創生に相当程度効果があった						
今後の方針等	事業を継続する アフターコロナということで、国内外の移動が活発となることから、本事業に引き続き取り組みながら、交流人口の拡大を目指していく。						

事業名	地方回帰と産業構造の変化を捉えた大規模人材還流プロジェクト			担当		地域振興部 地域協働課 産業振興部 商工雇用政策課 産業振興部 水産課	
事業概要 (本市のみ)	人口減少が進行する中、小さな拠点づくりの広域連携支援や地域課題解決の担い手となる人材の確保に取り組むことによって、持続可能な地域コミュニティづくりを行う。						
事業内容	事業名		事業概要	実績概要		交付金(円)	
	ながさき移住サポートセンター負担金		「ながさき移住サポートセンター」を設立し、長崎県と各市町で連携協力し移住促進に取り組む	「ながさき移住サポートセンター」主催のオンライン移住相談会等へ参加し、移住希望者とのマッチングを図った。		858,000	429,000
	移動販売支援事業費補助金		移動販売車及び設備の購入費等を支援することで移動販売業の維持及び拡大を図る	令和3年度から引き続き、2店舗に対する支援を行った。生鮮食料品等の調達が困難な地域において、移動販売に取り組むことで、暮らしやすさの向上につながった。		568,000	284,000
	漁業後継者対策事業		水産業の担い手を確保するため、実践研修の技術指導経費等への支援実施	新規就業者支援フェア(長崎)に参加し、新規漁業就業希望者の確保に努めた。11名の新規漁業就業者に対し、就業の支援を行った。		14,418,723	7,209,361
	まちづくり協議会研修・視察事業		人口減少、少子高齢化が急激に進む中、13の各地区まちづくり協議会が主体となり、地域課題の解決につながる活動を進めていくにあたり、どのように地域住民に伝え、理解してもらうのかという事を学ぶ。	各まちづくり協議会の活動を促進するための意見交換会や先進地視察を行った。		852,885	426,443
	<b>地方創生推進交付金 計</b>						<b>16,697,608</b>
本事業における重要業績評価指標(KPI)	指 標			単 位	目標値(R04)	実績値(R04)	達成率
市指標A	40歳未満のUIターン者の移住者数			人	225	185	82%
市指標B	移動販売支援事業費補助申請者数			件	4	2	50%
市指標C	新規就漁者数(独立型)			人	4	3	75%
市指標D	新たな地域課題解決に向けた取り組み			件	39	40	103%
事業効果	地方創生に相当程度効果があった						
今後の方針等	事業を継続する 引き続き、地域が抱える各種課題に対して、その解決に繋ぐ事業に取り組んでいく。						

事業名	「若者に選ばれる」畜産産地の実現で地域を活性化するプロジェクト				担当	産業振興部 農林課			
事業概要 (本市のみ)	「長崎和牛」の認知度及びブランド力向上のための流通・販売対策と、肥育農家の所得向上のための経営対策、コスト縮減対策、品質向上対策を一体的に推進するため、子牛の増頭に係る繁殖雌牛導入の負担を軽減し、スムーズな規模拡大、新規参入を支援する。								
事業内容	事業名		事業概要		実績概要		交付金(円)		
							総事業費	交付金充当額	
	五島市優良繁殖雌牛導入事業		子牛の増頭にかかる繁殖雌牛導入の負担を軽減し、スムーズな規模拡大、新規参入を支援。		五島市内の繁殖雌牛頭数は5,115頭となり、目標値を上回る水準を維持することができた。		4,738,000	2,369,000	
<b>地方創生推進交付金 計</b>					<b>4,738,000</b>	<b>2,369,000</b>			
本事業における重要業績評価指標 (KPI)	指 標				単位	目標値 (R04)	実績値 (R04)	達成率	
	市指標A	繁殖雌牛飼養頭数				頭	5,040	5,115	101%
	市指標B								
	市指標C								
	市指標D								
事業効果	地方創生に非常に効果的であった								
今後の方針等	事業を継続する		新規就農者をはじめとした担い手の繁殖雌牛導入経費を支援し、更なる市内肉用牛生産基盤の拡大、高品質化を目指す。						

事業名	しまの産品生産・販売力拡大支援事業				担当	地域振興部 文化観光課
事業概要 (本市のみ)	商品力(高付加価値、品質管理等)や商品量の不足等が販路拡大や継続取引への大きな障壁となっていることから事業者の生産拡大や商品力向上等を支援していく。また、大手運送事業者等と協働で新たな輸送体制を確立することにより、リードタイムの短縮及び安定的な出荷体制の確保と輸送費用の縮減を図っていく。さらに地域商社は、販路や取扱商品を段階的に拡大し、収益の増加を図るとともに、プライベートブランド商品の開発販売等を通じて自主財源を確保するなど持続可能な運営体制の確立と自立化を目指す。					
事業内容	事業名	事業概要	実績概要	交付金(円)		
					総事業費	交付金充当額
	五島産品出荷受付事業	市内に構築した集荷システムおよび物流倉庫を運用し、市内から大都市圏までの新たな物流体制を構築することで、輸送費の縮減と島外への安定供給体制の確立を進める。	市内集荷システム運用による取引額: 44,208,138円、輸送費70.6%縮減(既存送料8,565千円→2,522千円)	15,048,000	7,524,000	
	五島産品販路拡大事業	大都市圏で売れる商品の開発に繋げ、地域商社及び市外事業者の売上を拡大し雇用創出を図る。	五島産品を掲載したパンフレットを作成し、新規取引獲得のために活用した。	1,265,000	632,500	
	県しまの食品産業基盤整備支援事業	しまの産品販路拡大支援、しまの産品商品力向上支援、しまの地域商社支援に取り組み、販路拡大や生産拡大等を目指す。	通販サイトへの出展18事業者、商談会への出展26事業者、フェア開催10回	4,928,000	2,464,000	
<b>地方創生推進交付金 計</b>				<b>21,241,000</b>	<b>10,620,500</b>	
本事業における重要業績評価指標(KPI)	指 標		単位	目標値 (R04)	実績値 (R04)	達成率
	市指標A	集荷システム構築による売上高	千円	30,000	44,208	147%
	市指標B	大都市圏(東京、福岡)での市産品取引店舗数	店	145	121	83%
	市指標C	市物産振興協会の売上額	千円	348,500	228,847	66%
事業効果	地方創生に非常に効果的であった					
今後の方針等	事業を継続する 市内集荷システムの運用による輸送費の縮減と安定供給体制の維持を図り、販路拡大に繋げていく。コロナも明け、取引が活発化してきているため、引き続き商談会への出展、営業により、販路拡大に繋げていく。					



【No.5】

事業名	海洋エネルギー関連産業の受注拡大と産業間連携による地域活性化				担当	総務企画部 未来創造課
事業概要 (本市のみ)	海洋関連のプロジェクトを県内に誘致・創出していくことと併せて、県内企業の技術力向上と技術者の育成を図るとともに、地元企業の海洋関連プロジェクトへの参画を促進することにより、海洋関連産業の集積と海洋分野における受注拡大及び雇用創出を通じて、地域活性化を図る。					
事業内容	事業名	事業概要	実績概要	交付金(円)		
	五島市再生エネルギー分野先端技術開発支援事業費補助金	AIやIoTなどの先端技術を活用した産業振興や地域課題の解決、かつ、新市場の開拓や地元経済の貢献などに資する取組を支援。	下記2件の取組に対する支援を行った。 ・風力発電メンテナンスにおける現地作業の効率化及び技術者の適切な配置に資するシステムの開発。 ・電力需要家のレジリエンス向上と小売電気事業者の仕入れ価格提言を目指したDR(需要側の節電行動)システムの開発。	10,330,000	5,165,000	
				<b>地方創生推進交付金 計</b>	<b>10,330,000</b>	<b>5,165,000</b>
本事業における重要業績評価指標 (KPI)	指 標		単位	目標値 (R04)	実績値 (R04)	達成率
	市指標A	五島市内企業における技術開発等に関する実証事業件数	件	1	2	200%
事業効果	地方創生に非常に効果的であった					
今後の方針等	事業を継続する		引き続き、再生可能エネルギー分野先端技術開発支援事業に取り組み、新たな産業への振興を促進する取り組みを支援する。			



事業名	ドローンi-Landプロジェクト				担当	産業振興部 商工雇用政策課
事業概要 (本市のみ)	離島部の特性を活かし、他地域に先駆けて物流をはじめとしたドローン関連技術の実用化に向けた実証を行う環境を整備し、地域課題を解決することと地域特性を活かす事業にドローン関連技術を実証・実装し、さらには関連企業を誘致することによる雇用機会の創出と移住促進を実現する。					
事業内容	事業名	事業概要	実績概要	交付金(円)		
				総事業費	交付金充当額	
	無人物流(UAV等)実証事業	ドローン物流の実装に向け、ドローン輸送部分だけではなく、陸送部分を担う体制づくりや、コストに関する検証を行う。	二次離島へのドローン輸送にかかる地元住民の意識醸成、ドローン輸送に関するコストの検証、課題の抽出が行われた。	13,446,000	6,723,000	
	<b>地方創生推進交付金 計</b>			<b>13,446,000</b>	<b>6,723,000</b>	
本事業における重要業績評価指標(KPI)	指 標		単位	目標値 (R04)	実績値 (R04)	達成率
	市指標A	実施前後比較しての関連企業誘致・起業数	件	3	4	133%
	市指標B	プロジェクト関連雇用創出数	人	15	15	100%
	市指標C	ドローン等サービス創出数(実証・実装)プロジェクト	件	26	17	65%
	市指標D	ドローン等UAV及びIoT/ICT講習等受講者・参加者数	人	140	110	79%
事業効果	地方創生に非常に効果的であった					
今後の方針等	事業完了		本事業は平成30年度からの5か年事業であり、一部のKPIが目標値に達しなかったものの、最も重視していた「関連産業の誘致・企業数」「関連雇用者の増」のKPIが達成され、また、ドローンによる物流が実装されたことから、事業目的を果たしたため、事業終了とする。			

事業名	ながさきとの関わり創出プロジェクト				担当	地域振興部 地域協働課 教育委員会 教育総務課 奈留支所
事業概要 (本市のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部企業において多様な働き方への変化が生じている中、新しい働き方としてのテレワーク、ワーケーション等の受入を推進する。</li> <li>・地域住民が文化芸術に触れることで、新たな分野のイメージブランドの確立と、更なる交流人口の拡大を図り地域活性化に繋げる。</li> </ul>					
事業内容	事業名	事業概要	実績概要		交付金(円)	
					総事業費	交付金充当額
	関係人口創出業務	五島市への移住並びに二拠点生活を実践するための課題や潜在的移住者へのアプローチを目的とした講座開催する。	福岡市において、イベントを開催。30名の参加者に対し、潜在的移住者へのアプローチを図った。イベントの告知から開催内容まで情報発信も行った。		462,000	231,000
	文化芸術による地域ブランディング事業	【教委】東京藝術大学講師を招き、中高生の人材育成のための音楽セミナーを開催し、プロの音楽に触れる機会を提供する。	東京藝術大学音楽学部による市内中高生吹奏楽部を対象とした音楽セミナーを開催し、51名が参加した。また、合わせて開催した演奏会には420名が参加し、プロの音楽家の演奏にふれる機会を地域住民に提供した。		1,151,993	575,996
		【奈留】島外アーティストとの交流を図り、また、島内外住民参加型のワークショップの制作活動や作品展を実施して、地域住民が本物のアートに触れるきっかけを創出する。	島外からアーティストの五十嵐靖晃氏を奈留島へ招き実施。奈留島民や島を訪れた人々など約200人の手によって「そらあみ」が編み上げられた。展示会場は、江上天主堂前(江上小学校跡地)に約一ヶ月間展示し、1749名が来場した。		500,000	250,000
<b>地方創生推進交付金 計</b>					<b>2,113,993</b>	<b>1,056,996</b>
本事業における重要業績評価指標(KPI)	指 標		単位	目標値(R04)	実績値(R04)	達成率
	市指標A	40歳未満のUIターン者の移住者数	人	225	185	82%
	市指標B	地域ブランディング事業数	件	2	2	100%
事業効果	地方創生に非常に効果的であった					
今後の方針等	事業を継続する		引き続き、福岡市においてイベントを実施し、移住や二拠点生活に結び付くようアプローチを進める。また、芸術を切り口とし、市民に対して普段経験できない芸術に触れる機会を創出するとともに、市外の方を巻き込みながら、さらなる関係人口の創出に繋げていきたい。			

事業名	鑑瀬ビジターセンター及び周辺施設の再整備事業			担当	地域振興部 文化観光課	
事業概要 (本市のみ)	ジオパークを活かした取り組みを推進するために、平成7年に整備された「鑑瀬ビジターセンター」とその周辺施設を再整備し、市民や観光客が地域の自然や文化の大切さを学び、魅力を知り、大地と人の営みとを感じることができるジオパーク推進の拠点施設とする。					
事業内容	事業概要			交付金(円)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既存建物の改修(内壁の改修、間仕切の撤去・新設、倉庫部分の撤去、事務室の改修、照明改修、空調改修)や浄化槽の付け替え、展示内容の見直しのうち施設と一体部分である壁面の下地構築・塗装や展示什器・ジオラマの設置</li> <li>○既存建物の横に渡り廊下でつながる展望テラス付き休憩施設を新設</li> <li>○展示物内容を一新するため、新たな展示物の製作・設置</li> <li>○外構の整備</li> </ul>			総事業費	交付金充当額	
	<b>地方創生拠点整備交付金 計</b>			<b>398,635,600</b>	<b>199,317,800</b>	
本事業における重要業績評価指標(KPI)	指 標		単位	目標値 (R04)	実績値 (R04)	達成率
	市指標A	鑑瀬ビジターセンターの入館者数	人	-	-	-
	市指標B	教育旅行における鑑瀬ビジターセンターの利用者数	人	-	-	-
	市指標C	五島市への観光入込客数	人	-	-	-
事業効果	-					
今後の方針等	<b>事業完了</b>		令和5年4月にリニューアルオープン。事業効果、今後の方針等は令和5年度より検証していく。			

事業名	スマート 巡回診療推進プラン(モバイルクリニック) 事業			担当	福祉保健部 国保健康政策課	
事業概要 (本市のみ)	通院が困難な患者に対して、手軽にオンライン診療を提供することを目的として、自宅付近にオンライン診療のための医療機器を搭載した専用車両が出向き、同乗している看護師によって、車内からテレビ電話をつなぎ、医師によるオンライン診療や薬剤師によるオンライン服薬指導を実施する。		実績概要	交付金(円)		
				総事業費	交付金充当額	
	医療機器を搭載したマルチタスク車両を導入し、2つの医療機関において23件のオンライン診療を行った。	48,174,016	23,965,000			
<b>デジタル田園都市国家構想推進交付金 計</b>				<b>48,174,016</b>	<b>23,965,000</b>	
本事業における重要業績評価指標(KPI)	指 標		単位	目標値 (R04)	実績値 (R04)	達成率
	市指標A	オンライン診療実施医療機関数	機関	2	2	100%
	市指標B	オンライン診療実施件数(延べ数)	件	12	23	192%
	市指標C	オンライン服薬指導実施件数(延べ数)	件	12	17	142%
事業効果	地方創生に非常に効果的であった					
今後の方針等	事業完了		本交付金による事業は完了となる。今後は、オンライン診療実施医療機関を拡充させ、診療所等から離れた地域における医療環境の充実化を目指していく。			